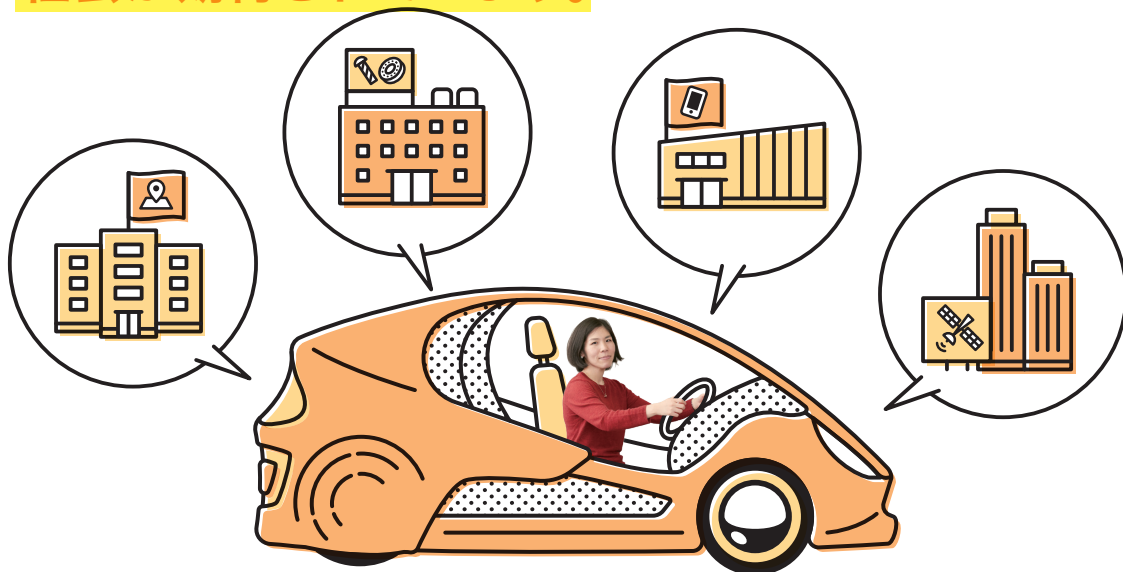


Q 次代のモビリティ産業で、 中小企業は活躍できる？



**部品製造だけでなく、ソフトウェア開発など、
これまで以上に中小企業が活躍する
社会が期待されています。**



日本のものづくりを支える中小企業。 経済にも多大な影響を与えています。

自動車産業をはじめ、世界に誇れるさまざまなものづくりを続けてきた日本。ものづくり大国などと言われ、存在感を世界に示してきました。こうした日本のものづくりを支えているのが、日本企業全体の9割以上を占める中小企業。たとえば自動車の場合、部品を製造する企業だけでなく、ナビゲーションシステムなどを担当するソフトウェア企業など、さまざまな関連中小企業が、完成車メーカーを支える形で、自動車生産が成り立っています。このように、日本の産業の全体像や日本経済を考察する際、中小企業は非常に大きな影響力をもっています。そのため、日本の経済状況を分析するには、大企業だけでなく中小企業の動向を正しく捉えることが重要です。

中小企業がそれぞれに活躍し、 日本の産業を牽引する未来をめざして。

私が現在取り組んでいるのは、モビリティ産業へと変容を迎えている自動車産業を中小企業の立場から考察する研究。100年に一度の大変革期を迎えていると言われる自動車産業。電気自動車や自動運転技術の開発が進む今日、トヨタ自動車が未来のモビリティを提案する「モビリティカンパニー」への変革を打ち出したことなどが話題になっています。私の研究の目的は、この変革に対して中小企業がどのように向き合えばいいのか、各企業が情報を適切に収集し、それぞれの立場で適切な戦略を立てられるように知見を示すこと。ひいては日本の産業振興に貢献できたらと考えています。



太田 志乃 先生

Ota Shino

小さいころから弁護士をめざしていました。大学でも法学部に進みましたが、そこで一般教養科目として受けた「国際関係論」の授業が転機に。日本の企業の経済活動や海外への事業展開などに興味をもち、大学院で転科し、現在にいたります。

私の気分転換



絵本の読み聞かせは、 息子たちとの安らぎの時間。

昔から読書が趣味だったのですが、今はとくに、絵本の読み聞かせが大好きに。自分が幼かったころ親に読んでもらった本や最近話題の絵本などを2人の息子たちに読み聞かせていると、自分のこころも安らぎます。